

農山漁村地域整備計画 事前評価調書

計画の概要	計画の名称	岐阜県農山漁村地域農業農村整備計画(草地畜産基盤整備分野)
	計画策定主体	岐阜県
	対象市町村	高山市、飛騨市
	計画期間	平成26年度～平成30年度(5年間)
	計画の目標	公共牧場の機能強化、担い手農家の生産基盤及び、家畜保護施設等の整備を行い、飼料自給率の向上、中核的担い手農家の育成、及び、「飛騨牛」のさらなる生産拡大を図る。
	定量的指標	①新たに草地畜産基盤整備を推進するため、1地区において事業実施計画を策定する。

ランク	評価基準	判定基準
評価Ⅰ	全項目が○である。	事業の実施
評価Ⅱ	1項目でも×がある。	計画の見直し

評価結果
評価Ⅰ

項目	評価項目	評価	評価根拠
目標の妥当性	・関連する計画との整合性が図られているか	○	「酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律」に規定される県及び市の「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための計画」及び県の「ぎふ農業・農村基本計画」に定める目標を達成するための取り組みであり、各計画と整合性が図られている。
	・地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	公共牧場の機能低下に伴う飼料自給率の低下、労働負担の増の改善を図り、地域内一貫生産体制の拡充により担い手農家の生産意欲に応えるとともに、担い手の経営規模拡大、後継者の受入生産基盤の整備、更には地域の耕作放棄地、遊休地の有効利用などに対応している。
整備計画の効果・効率性	・整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	本計画の対象事業は、計画目標を達成するために必要な事業種目で構成されており、本事業実施に必要な計画の策定を定量的指標に設定していることから、整備計画の目標と定量的指標は整合性が図られている。
	・事後評価ができる適切な指標となっているか	○	本計画の定量的指標は、対象事業実施に必要となるため、事業着手時点で確認できる指標となっている。
	・構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	本計画目標は、対象事業を実施し発現する効果により達成されるもので、対象事業実施による効果を評価するために必要となる指標として適切である。
整備計画の実現可能性	・円滑な事業執行の環境が整っているか	○	県、市における事業推進体制が整っているとともに、平成26年度には、県、市、農協等関係機関を構成員とする組織を設立する予定にあり、円滑な事業執行が可能である。
	・地元の機運が醸成されているか	○	市、事業参加者の事業実施意欲は高く、事業実施に対する同意が得られている。また、各参加者は事業実施にあたる各種条件の事前調整をすすめており、地元の機運は醸成されている。